



平成 26 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社アドメテック  
代 表 者 名 代表取締役社長 中住 慎一  
コード番号 (7778 TOKYO PRO Market)  
問 合 せ 先 取締役管理部長 内田 則崇  
電 話 番 号 089-989-5917  
U R L <http://www.admetech.co.jp>

### 第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 11 月 18 日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行（以下、「本件第三者割当」といいます。）を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### I. 第三者割当により発行される新株式の募集

##### 1. 募集の概要

##### 第三者割当による新株式発行

(1) 払 込 期 日	平成 26 年 11 月 28 日
(2) 発 行 新 株 式 数	普通株式 129,600 株
(3) 発 行 価 額	1 株につき金 155 円
(4) 発 行 価 額 の 総 額	20,088,000 円
(5) 募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、割当先に対して以下の株式数を割り当てます。 谷口互氏 65,000 株 テラ株式会社 64,600 株

## 2. 募集の目的

当社は創業以来損失を計上しており、手元の現金及び預金の残高が、研究開発活動を進めるに支障を来す水準に低下しております。このため、円滑に研究開発活動を継続していくことが当社の事業の継続、収益基盤の構築、並びに事業の成長のためには必須であり、早期の資金調達は緊急かつ最大の経営課題であると考えております。

一方で、第三者割当増資を実施した場合には、株主の持分割合の希薄化が生じるとともに、当社のコーポレート・ガバナンスへ影響を及ぼすものとなることから、第三者割当増資の規模及び引受先の選定については、慎重に検討を行ってまいりました。

しかしながら、エクイティ・ファイナンスによる資金調達により、財務体質の改善、経営基盤を強化することで、研究開発の加速化を図り、企業価値を向上させることが、株主の利益に資すると判断し、当社の経営状況を鑑み、早急かつ確実に資金調達を行うには、本件第三者割当増資が相当であると判断いたしました。

## 3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

### (1) 調達する資金の額

払込金額の総額 (円)	発行諸費用の概算額 (円)	差引手取概算額 (円)
20,088,000	4,800,000	15,288,000

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、ファイナンシャルアドバイザー費用 200 万円、登記費用 60 万円、割当予定先調査費用 200 万円、その他諸費用 20 万円等であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (千円)	支出予定時期
研究開発資金	10,013	平成 26 年 12 月～平成 27 年 9 月
運転資金	5,275	平成 26 年 12 月～平成 27 年 3 月

(注) 調達した資金を実際に支出するまでは、当社取引銀行の口座にて管理する予定です。

① 研究開発資金

当社は、熱により難治性腫瘍を治療する医療機器の研究開発を基幹事業としており、当社が最優先事項の研究開発としているのが、微細電気抵抗発熱技術を用いて再発進行ガンに対して「熱」単独の治療または「熱」プラス「免疫療法」と併用が可能なデバイスの研究開発であります。

この研究開発を実行するために平成 26 年 9 月 25 日に第三者割当による新株式を発行し、137,950,000 円を調達しましたが、1 つでも多くのアカデミア等との様々な角度からアプローチした共同研究を行うための研究開発資金に充当するため、当該第三者割当増資を行うものであります。当社が開発した機器を使用した論文の掲載を積極的に実施することで、国内外において当社機器の信頼度や認知度を高めるために資金を使用する予定であります。

② 運転資金

当社は、損益状況や資金繰りに関して、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、当該重要事象等を改善するための対応策を講じており、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

しかしながら、営業活動によるキャッシュ・フローにおいて、3 期連続マイナスとなっております。早期の黒字化により、財務体質を強化し、企業の継続性への懸念を払拭するまでには、しばらく時間を要すると予想されるので、本件第三者割当を実施し、運転資金をある程度自己資金で賄えるようにするとともに、債務超過懸念を払拭し、財務体質を強化し、企業の継続性並びに安定性を保った上で事業運営を行うことが企業価値向上のために重要と判断しており、運転資金の主な内容としては人件費等に充当する予定であります。

#### 4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当における調達資金の使途については、上記「3. 調達する資金の具体的な使途及び支出予定時期」に記載のとおりであり、調達した資金を研究開発活動として使用し、研究開発活動を加速させることが、中長期的な当社の企業価値向上、ひいては株主利益に資するものであり、かかる資金使途は合理的と判断しております。

#### 5. 発行条件等の合理性

##### (1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

発行価格の決定に際しては、当社普通株式は、平成 25 年 9 月 4 日に株式会社東京証券取引所が運営するプロ向け株式市場 TOKYO PRO Market へ上場しておりますので、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠し、本第三者割当に関する当社取締役会決議日の直前営業日の東京証券取引所 TOKYO PRO Market における当社普通株式の終値、当該取締役会決議日の直前営業日の 1 ヶ月間の終値平均値、3 ヶ月間の終値平均値、6 ヶ月間の終値平均値、いずれかの株価からディスカウント率が 10%以下で発行価格を設定するのが通常ですが、希薄化率が 25%を超えること及び東京証券取引所 TOKYO PRO Market は、プロ向けの株式市場であり、市場における合理的に形成された時価であるとは言い難いことを考慮して、特に有利な金額による発行に該当する可能性もあるため、会社法第 199 条及び第 200 条の規定に基づき、平成 26 年 6 月 27 日に開催した第 11 期定時株主総会において本第三者割当の発行価格を 1 株につき 155 円を下限とする議案を付議し、可決、決定したのを受けて、本日開催の取締役会にて決議いたしました。

##### (2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本件第三者割当による新規に発行する株式数は 129,600 株（議決権 1,296 個）の発行済株式数（2,989,200 株、平成 26 年 11 月 17 日現在）に占める割合は 4.34%（株式発行前の総議決権 29,892 個に占める割合は 4.34%）となります。また、平成 26 年 9 月 25 日払込完了の第三者割当による新規に発行する株式数の合計数は 1,019,600 株（議決権数 10,196 個）となり、一定の希薄化が生じるものと認識しております。

しかしながら、第三者割当による株式新規発行の割当先を谷口互氏及びビテラ株式会社とすることにより、今後の業績向上への貢献意欲が図れることから業績向上が見込めるとともに当社企業価値の向上につながるものと考えております。

このような観点から、株式発行数量及び株式の希薄化の規模は妥当であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

(1) 氏名	谷口 亙
(2) 住所	兵庫県宝塚市
(3) 職業の内容	株式会社サンワカンパニー 元代表取締役社長
(4) 当社と当該個人の関係	
資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(1) 名称	テラ株式会社	
(2) 所在地	東京都港区赤坂一丁目 12 番 32 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 矢崎 雄一郎	
(4) 事業内容	医療機関に対する樹状細胞ワクチン療法等、細胞医療に関する技術・運用ノウハウの提供 樹状細胞ワクチン療法等、再生・細胞医療に関する研究開発	
(5) 資本金	1,332 百万円 (平成 26 年 6 月 30 日現在)	
(6) 設立年月日	平成 16 年 6 月	
(7) 発行済株式数	13,795,156 株 (平成 26 年 6 月 30 日現在)	
(8) 決算期	12 月 31 日	
(9) 従業員数	46 名 (平成 26 年 6 月 30 日現在)	
(10) 主要取引先	医療法人社団 ミッドタウンクリニック、医療法人社団 医創会 セレンクリニック名古屋、パナソニックヘルスケア株式会社	
(11) 主要取引銀行	みずほ銀行、りそな銀行	
(12) 大株主及び持株比率 (平成 26 年 6 月 30 日現在)	矢崎 雄一郎	31.81%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5.13%
	旭化成株式会社	5.05%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2.91%
	ジェーピーモルガンチェースバンク 385181 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	1.12%
	株式会社日立製作所	0.98%
	資産管理サービス信託銀行株式会社	0.90%
	株式会社アドバンスト・メディカル・ケア	0.72%
	コージンバイオ株式会社	0.72%
	バンクオブニューヨーク メロンエスエー エヌブイ フォー ビーエヌワイ ジーシーエム クライアント アカウント イーエルエス シービー (常任代理人 株式会社三井住友銀行)	0.71%
(13) 当事会社間関係		
資本関係	該当事項はありません。	
人的関係	該当事項はありません。	
取引関係	該当事項はありません。	
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(14) 最近 3 年間の経営成績及び財政状態		

決算期	平成 23 年 12 月期	平成 24 年 12 月期	平成 25 年 12 月期
連 結 純 資 産	1,305,124	1,437,725	1,529,194
連 結 総 資 産	2,212,798	2,079,231	2,387,234
1 株当たり連結純資産 (円)	98.75	106.56	109.68
連 結 売 上 高	1,322,465	1,544,923	1,539,993
連 結 営 業 利 益	71,280	221,644	23,234
連 結 経 常 利 益	52,220	220,423	△24,247
連 結 当 期 純 利 益	16,614	99,623	△58,296
1 株当たり連結当期純利益 ( 円 )	1.35	7.59	△4.44
1 株当たり配当金 (円)	—	0.80	—

(単位：千円。特記しているものを除く。)

## (2) 割当予定先を選定した理由

当社は、当社のおかれる現状と課題を十分にご理解いただき、また、当社の事業内容や事業計画について十分にご理解いただけること及び当社の経営の独立性が確保されること等を割当予定先を選定方針として複数の割当先候補との接触を重ね、検討を行ってまいりました。各割当予定先を選定理由は以下に記載のとおりであります。

なお、当社は、割当予定先の実態については、テラ株式会社は、株式会社東京証券取引所市場ジャスダックスタンダードに上場しており、同社が平成 26 年 3 月 31 日付で株式会社東京証券取引所に提出した「コーポレートガバナンス報告書」に記載された反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方及びその整備状況を確認することにより、当社は反社会的勢力との関係を有していないものと判断しております。

また谷口互氏においては、株式会社 J P リサーチ&コンサルティング (東京都港区虎ノ門三丁目 7 番 12 号、代表取締役：古野啓介) に調査を依頼し、割当予定先は、反社会的勢力との関係を有している事実が確認されなかった旨の調査報告を受領しております。さらに当社は、割当予定先が反社会的勢力との関係がない旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

谷口互氏

谷口互氏は株式会社東京証券取引所マザーズ市場に上場している、株式会社サンワカンパニーの元代表取締役社長であります。

同社を上場させたご経験や幅広いご人脈があり、当社の企業価値向上の専門的な支援や助言を提供して頂けると判断し、また当社のおかれている現状と課題、事業計画に基づく今後の展望、経営基盤等を十分にご理解いただいたので割当予定先として選定いたしました。

テラ株式会社

テラ株式会社は、免疫療法のひとつである樹状細胞ワクチン療法の技術・ノウハウを有しており、現在、当社は、当社の「温熱療法」と同社の保有している「免疫療法」を併用した共同研究等の実施に向けての検討を行っております。同社との共同研究等を実現することが、当社の企業価値向上に資すると判断し、割当予定先として選定いたしました。

### (3) 割当予定先の保有方針

当社は、各割当予定先から当社の安定株主として本株式を中長期にわたり保有する意向であることを、当社は口頭にて確認しております。

なお、当社は各割当予定先が本件第三者割当により取得した新株式の全部又は一部を払込期日から2年以内に譲渡した場合には、譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を直ちに書面により報告すること、当社が当該報告内容を株式会社東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告が公衆縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定であります。

### (4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先である谷口互氏からは新株の引受けにかかる払込みを行うことが十分に可能であることを直近の証券口座の残高報告証明書の写しの提出を受けており、またテラ株式会社については平成26年12月期第2四半期報告書(平成26年8月5日提出)を確認し各割当予定先は本件第三者割当の払込みの確実性があるものと判断しております。

#### 7. 募集後の大株主及び持株比率

募 集 前 (平成 26 年 9 月 30 日現在)	募 集 後
マーチャント・バンカーズ 株式会社 16.06 %	マーチャント・バンカーズ 株式会社 15.39 %
飯塚 哲哉 15.72 %	飯塚 哲哉 15.07 %
FA コンサルティング株式会社 11.04 %	FA コンサルティング株式会社 10.58 %
投資事業有限責任組合 えひめベンチャーファンド 2013 無限責任組合員 8.25 % フューチャーベンチャーキャピタル株式会社	投資事業有限責任組合 えひめベンチャーファンド 2013 無限責任組合員 7.90 % フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
クールジャパン 投資事業有限責任組合 無限責任組合員 6.69 % 株式会社チームクールジャパン	クールジャパン 投資事業有限責任組合 無限責任組合員 6.41 % 株式会社チームクールジャパン
CA 価値継承 1 号 投資事業有限責任組合 無限責任組合員 5.02 % 株式会社コーポレート・アドバイザーズ	CA 価値継承 1 号 投資事業有限責任組合 無限責任組合員 4.81 % 株式会社コーポレート・アドバイザーズ
中住 慎一 4.68 %	中住 慎一 4.49 %
渡部 祐司 4.48 %	渡部 祐司 4.30 %
今中株式会社 3.35 %	今中株式会社 3.21 %
猶原 隆 2.11 %	谷口 互 2.08 %

(注) 募集後の大株主及び持ち株比率は、平成 26 年 9 月末日時点の当社株主名簿をもとに記載しております。

#### 8. 今後の見通し

本件第三者割当が当社平成 27 年 3 月期に与える影響は精査中であり、今後、開示すべき事項が生じた場合は、判明次第速やかに公表いたします。

#### 9. 企業行動規範上の取引等に関する事項

本件第三者割当は、希薄化が 25%未満であり、かつ支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 432 条に規定される独立第三者からの意見入手又は株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
売上高 (千円)	32,496	19,747	21,497
営業利益 (千円)	△27,587	△16,539	△45,698
経常利益 (千円)	△28,282	△16,218	△71,163
当期純利益 (千円)	△28,941	△16,549	△71,736
1株当たり当期純利益	△16円10銭	△9円20銭	△34円50銭
1株当たり配当金	—	—	—
1株当たり純資産	30円00銭	20円79銭	5円17銭

(注) 平成25年6月27日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。平成24年3月の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況 (平成26年10月31日現在)

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	2,989,200株	100.0%
現時点の転換価格(行使価格)における潜在株式数	231,500株	7.19%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
始値	—円	—円	155円
高値	—円	—円	155円
安値	—円	—円	155円
終値	—円	—円	155円

(注) 平成25年9月4日をもって東京証券取引所 TOKYO PRO Market に株式を上場いたしましたので、それ以前の株価については、該当事項はありません。

② 最近6か月の状況

	6月	7月	8月	9月	10月	11月
始値	—円	—円	—円	—円	—円	—円
高値	—円	—円	—円	—円	—円	—円
安値	—円	—円	—円	—円	—円	—円
終値	—円	—円	—円	—円	—円	—円

(注) 1. 平成26年11月の株価につきましては、同月17日までの状況であります。

2. 平成26年6月、7月、8月、9月、10月、11月、については売買実績がありません。

③ 発行決議日前営業日株価

		平成 26 年 11 月 17 日
始	値	—円
高	値	—円
安	値	—円
終	値	—円

(注) 平成 26 年 11 月 17 日については売買実績がありません。

(4) 最近 3 年間のエクイティ・ファイナンスの状況

発 行 期 日	平成 25 年 4 月 24 日
調 達 資 金 の 額	45,000,000 円
発 行 価 格	1 株につき 15,000 円
募 集 時 に お け る 発 行 済 株 式 数	17,977 株
当 該 募 集 に よ る 発 行 株 式 数	3,000 株
募 集 後 に お け る 発 行 済 株 式 総 数	20,977 株
割 当 先	マーチャント・バンカーズ株式会社
当 初 の 資 金 使 途	運転資金
支 出 予 定 時 期	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
現 時 点 に お け る 充 当 状 況	全額充当済み

発行期日	平成26年9月25日
調達資金の額	137,950,000円
発行価格	1株につき155円
募集時における発行済株式数	2,099,200株
当該募集による発行株式数	890,000株
募集後における発行済株式総数	2,989,200株
割当先	飯塚哲哉氏 470,000株 クールジャパン投資事業有限責任組合 200,000株 今中株式会社 100,000株 塚本勲氏 40,000株 KGF株式会社 40,000株 株式会社OKOZE 40,000株
当初の資金使途	研究開発 運転資金
支出予定時期	平成26年10月～平成28年9月
現時点における充当状況	研究開発及び運転資金として一部充当済

以上

